

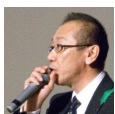


地域のもりから学ぶ森林づくり2012 定山溪もりづくり発表会

もりづくり報告会は2月27日（水）札幌市南区小金湯「アイヌ文化交流センター（ピリカコタン）」にて、豊平峡・定山溪ダム水源地域ビジョン推進会議の主催で行われ約80名の参加がありました。石狩地域森林環境保全ふれあいセンターとしては本年度実施した5回の森林教室の外、定山溪地区で行った当センターの活動紹介なども報告しました。報告会の内容については次の通りです。



主催者代表挨拶 豊平峡・定山溪ダム水源地域ビジョン推進会議小室副代表
報告会を通じ環境や森林の役割についてと再度関心を持つ機会になればと切に願います。



来賓挨拶 北海道森林管理局指導普及課本谷課長補佐
この報告会が札幌市民や定山溪住民に広く情報発信ができる良い機会となれと思います。

石狩地域森林環境保全ふれあいセンター渡辺所長



渡辺所長から平成24年に行われた全5回の森林教室について順を追ってその目的と内容について報告がなされました。その他に定山溪地区を舞台とした植樹の様子や中学校の課外授業の講師、ボランティア団体の指導なども併せて報告がありました。なお、来年度から組織改編による名称の変更などがあるが、変わらずご支援・ご協力いただきたいとの要請も行いました。



札幌市立定山溪中学校「私たちの科学研究発表」と題し生徒さんが発表を行いました。発表内容は本年「さっぽろこども環境コンテスト」で最優秀賞を受賞した内容と、中文連で発表した「地表性昆虫から環境変化を探る」と「自動撮影装置による奥定山溪の動物調査」それぞれ発表がありました。参加者からは「大変立派な発表」「大人顔負け」「興味深い内容」と声がありました。



講演 「定山溪の環境に学ぶ」として札幌市立定山溪中学校歌川先生から次の通り講演がありました。

前任地の藻岩中では自然観察を行う場合いろいろと制約の中、観察を行ってきましたが植物などの多くが外来種であり札幌の自然を肌で感じる事が少ないと感じていました。希望かなって定山溪中学校に赴任してからは素晴らしい自然環境があることを感じ、授業の中に取り入れたり生徒達にも地元定山溪の自然を感じてもらいたいとの思いもある中、色々な方々の協力もあり生徒を含め発表の機会を得ました。今後はこのすばらしい環境を地域の方々にも知ってもらい、さらには地元の観光事業にも展開できたらと思っています。



特別講演 「定山溪～自然とわたし」として定山溪山野草の会 一條代表より次の通り特別講演がありました。

内容は野草やキノコなどの話を通じて定山溪の魅力を話がありました。スタートは「アオダイショウ（ヘビ）」から始まり、植物十三種、キノコ八種、昆虫三種、鳥七種、動物六種の魅力について紹介がありました。とくに「ジョウザン」と名のつく植物や昆虫が自分たちの身近に生きておりこの定山溪は自然環境に本当に恵まれた地区であることや、環境を題材にした中学生の発表は本当に素晴らしいとの感想がありました。

